

## 平成30年度学力向上指導改善プラン

### 1. 読書活動の充実による読解力の向上に努めます

- ・保護者等による図書ボランティアの協力により、学校図書館の環境を整備することで、生徒の利用拡大を行います。
- ・生徒会図書委員会の活動を通じた読書活動の推進を行います。(学級文庫の充実)
- ・家庭生活状況調査の定期的な実施による、読書習慣の定着を図ります。

#### 《達成目標》

※1日の読書時間30分以上が、全校生徒の50%以上 (昨年度42.4%)

※図書館での本の貸し出し数が、年間5冊以上が、全校生徒の50%以上

※学級文庫の全クラス常時設置

### 2. 学習相談・教育相談の充実に努めます

- ・長期休業日、ノー部活デーを利用した、自学教室の充実を行います。
- ・教育相談週間を実施し、個々の生徒理解を図ります。
- ・定期テスト1週間前を部活動停止とし、放課後の時間を利用した学習相談を実施します。

#### 《達成目標》

※教育相談習慣の年2回の実施

※学校評価アンケートによる学習相談・教育相談に対する肯定的意見80%以上

### 3. 学力分析による学習方法、指導方法の工夫改善を行います

- ・生徒が主体となって授業に参加する授業形態の実践を積極的に行います。
- ・学習の理解を助ける、ICT機器等を活用した授業実践を行います。
- ・授業公開期間の設定による、授業交流・研修を行います。
- ・新学習システムの活用による、個に応じた学習指導の充実を図ります。
- ・「授業のめあて、授業の振り返りの明示」等の授業における『型』をつくっていきます。

#### 《達成目標》

※学校評価アンケートで、生徒保護者の授業内容の肯定的意見が80%以上

※ICT機器の授業での利用を年間各教科1回以上

※授業改善のための研修会を年間2回以上実施

※授業公開週間年間3回の実施と教師の授業参観100%

### 4. 家庭における学習習慣、生活習慣の改善に努めます

- ・定期的な家庭生活状況調査の実施による、学習習慣、生活習慣の点検、指導を行います。(6月 10月 2月 ゴールデンウィーク 夏休み 冬休み)
- ・学校だより、学年、学級通信、生徒指導通信等を利用して各家庭への啓発を行います。
- ・家庭学習プリントの活用による、学習習慣の定着を図ります。(3年生を中心に)

#### 《達成目標》

※平日の家庭学習時間の学年×60分以上が、各学年80%以上

※平日の家庭学習時間30分以下の生徒、0%を達成します。(昨年4.5%)

※携帯・スマホの使用時間の1時間以内90%以上、2時間以内100%を達成します。

### 5. 学力向上に向けた小中連携の推進を行います

- ・学習規律の小中で統一した指導の取り組みを行います。
- ・小中連携のため出前授業等の授業交流を実施します。(昨年度、英語科で実施)
- ・小中9年間を見通した、最低限身につけるべき学習内容の基準作りを行います。

#### 《達成目標》

※小中連携の会を年間3回以上実施

※小中の授業交流を年間2回以上実施